

平成22年度技術士第二次試験問題〔環境部門〕

選択科目【19-3】自然環境保全

1時30分～5時

I 次の2問題（I-1, I-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

I-1 次の2設問のうち1設問を選んで解答せよ。（解答設問番号を明記し，答案用紙3枚以内にまとめよ。）

I-1-1 平成22年に名古屋で開催される生物多様性条約締約国会議（COP10）において，我が国は里山保全について「SATOYAMAイニシアティブ」を世界に発信しようとしている。里地・里山保全について我が国の歴史的経験を踏まえ，次の①～③について述べよ。

- ① 今，なぜ里地・里山保全なのか，生物多様性保全の観点からの必要性
- ② 我が国の里地・里山に関する歴史的経験を踏まえて，日本が里地・里山保全を世界に発信する意味・発信すべき内容
- ③ 今後考えられる我が国の里地・里山保全策についての技術的観点，制度的観点からの見解

I-1-2 豊かな生物多様性は様々な恵みを人間にもたらしてくれる。この自然の恵みを表現する考え方に「生態系サービス」がある。生態系サービスに関し，次の①～④について述べよ。

- ① 生態系サービスの視点が必要とされる理由
- ② 生態系サービスの内容
- ③ 生態系サービスの現状と背景・理由（全世界的視野で）
- ④ 我が国の生態系の中から2つを選択し，生態系サービスの低下を防ぐための課題と技術的解決策

I-2 次の3設問のうち1設問を選んで解答せよ。(解答設問番号を明記し、答案用紙3枚以内にまとめよ。)

I-2-1 歩くことは自然公園における最も基本的な利用形態である。すぐれた山岳の自然環境の中で歩くことによる自然とのふれあいを支える登山道は、自然公園の中でも基幹的な施設である。登山道に関し、次の①～③について述べよ。

- ① あなたが利用したことのある自然公園名と歩いたことのある登山道(山岳名等)を3つ挙げ、その状況を解説
- ② 山岳地に整備されることを踏まえ、登山道の路面整備・改良・補修に際しての留意点
- ③ 登山道の維持管理について、どのような維持管理があるかを記し、さらに今後の維持管理の技術的、制度的な課題と解決方法

I-2-2 適正なエコツーリズムの整備・推進に関し、次の①～③について述べよ。

- ① エコツーリズム整備のための要件を挙げるとともに、エコツーリズムの実施における基本的な考え方
- ② 我が国におけるエコツーリズム実施地域の現状及び推進上の問題点と課題
- ③ 我が国におけるエコツーリズムの整備と推進のあり方についての今後の展開

I-2-3 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)に基づき、トキについては保護増殖事業が実施されている。平成20年、21年には野生復帰をめざした放鳥も行われた。トキに関し、次の①～③について述べよ。

- ① 日本のトキが減少した理由
- ② 放鳥にあたっては、生息環境の整備が重要であるが、特に留意すべき点
- ③ 飼育下での繁殖だけではなく、困難が多い野生復帰をめざす技術的意義と波及効果